

第 13 回定期公演(2 日目) アンケート結果

2018 年 9 月 23 日 (日) 回答数 39

☆立場

家族	19	(親 8 祖父母 4 きょうだい 0 無回答 7)
支援者	15	(福祉 9 教育 1 無回答 5)
行政関係	2	
その他	4	

☆公演全体について

とてもよかった	32
よかった	6
普通	1
よくなかった	0

☆特に印象に残ったところ (複数可)

キャラバン隊の紹介	5	発達障害のある有名人	7
わたしたちのこども	6	自閉症ってなあに?	14
疑似体験	32	対応のヒント	11
ひび割れ壺	15	歌 (君がいてよかった)	22
ぼくたち、わたしたちの思い	7		

☆どんなところが印象に残りましたか?

- ・ 1 番印象に残ったことは、疑似体験でした。 障害を持った方、本人の見え方・感じ方を知ることができて、よかったです。
- ・ 疑似体験を通して、自閉症の方について具体的に知る事ができた。 そしてその対応のヒントについても知ることができ、今後の支援に役立てていきたいと思った。
- ・ 疑似体験では、こんな気持ちになるんだと あらためて感じられました。 歌には とても感動しました。
- ・ 疑似体験をすることで、自閉症の方の感じ方や伝わり方、感覚がどういうものか触れることができたところ。 こういう体験から、自分が利用者の方と関わる時に、どうやって伝えること、示すことが分かりやすいのかを考えるヒントになる気がしました。
- ・ 今、支援者として、自閉症の方達と接していますが、なぜ? という疑問に思うことがあります。 疑似体験や、対応のヒントで、よくわかったと思います。

- ・教育者として、障害のある子と関わる毎日の中で、迷いや葛藤もあります。子どもの気持ちが読めない時、どうしたらよいか、子どもが何をかんじているのかを知るきっかけになりました。疑似体験を通して、子どもの見る世界を少し知れたような気持ちになりました。
- ・絵カード等に頼りがちですが、ただ出せばいいのではなく、当人が納得しない限り、「怖い人」にみえてしまうことに改めて気づきました。支援が独りよがりにならない為にも、このような機会があります。 「ひび割れ壺」と、弓立さんの歌は、半泣きでした。
- ・疑似体験です。 がんばってほしい気持ちで掛けていた言葉がプレッシャーや不安にさせてしまっていたのだなと、あらためて思いました。
- ・体験が一番感じる事ができた。
- ・自閉症の方の感じ方について、参加前より理解しやすくなりました。
- ・〈自閉症の子が質問をもう一度聞き返してくる時は、質問の内容が分っていないから〉ということを知った時に、そういう理由があったんだと思いました。
- ・インターネットや本で、自閉症については知ることがなかった。 実際に障害ある人と関わったことがない為、どのように接したらいいのかも、よくわかりませんでした。 行動には意味があり、コミュニケーションが言葉ではやれなくても、分かり合うことができる方法や手段、その子にとっては意味があることを知りました。
- ・実体験に基づいたアドバイス。 疑似体験によって、本人の気持ちが理解できたかなと思う。
- ・疑似体験をただやるだけでなく、こういう所が自閉症の人がこう思っているんだというのがよく分かりました。
- ・疑似体験では、やってみて初めて分かりました。 家で子供の宿題に取り組むのに時間がかかり その時も「早く」とか「がんばれ」とか声かけちゃうんですが、少し変えてみようかなと思いました。
- ・疑似体験では、このような世界で自閉症の子は生きて過ごしているのかと理解が深まって良かった。 対応のヒントも、なるほどと思えるようなことばかりで、視覚的に、なおかつ具体的（シンプル）な対応が、その子を安心させるのだなあとよく分かった。 歌も自閉症のお子さんがある親の気持ちが共感できた。
- ・疑似体験を通して、普段 接しているスペクトラム症の長男、学習（書字）障害の次男、職員として接している利用者さんの、思っている通りにできないもどかしさや、プラスの声かけの、時には邪魔な言葉を聞く立場になってみないと分からない事が経験できて、本当に良かったです。 歌、とても感動しました。
- ・どんな風に見えてたり、どんな風に感じているかが聞けて参考になりました。
- ・疑似体験コーナーでの折り紙（ガンバレ ガンバレはうるさい!!）と、イスを収める（分からないのは不安である）のは役に立ちました。
- ・大変な苦勞をしながら子育てされたと思うが、今 笑顔で幸せそうにいること。 子どもの個性を促すような花の種をまくことが親の仕事だということ。
- ・特長を生かした生活を進めることも重要である。 人は全員 自閉症である、ただレベル差がある。 理解することは、相手の行動と言動から。 コミュニケーションの重要性。
- ・自閉症のこと、特に見え方・聞こえ方・感じ方を実感することができた点。 自閉症といっても様々な特徴があることが分かった。

- ・一生懸命にやっているつもりでも、周りが応援しようとしても、本人にとっては とても辛いことが分かりました。
- ・2回目の参加です。皆さんのお子さんが沢山の愛に包まれ大きくなっていることに感激です。 理解する事で、良き支援ができる事を再確認しました。

☆ご意見、ご要望、ご感想など、ご自由に

- ・とても貴重な体験ができました。体験を通して少しずつ理解を深めていきたいと思いました。今後も続けて行ってほしいと思います。
- ・対応のヒントでもう少し色々な事例（よくある事例）を知りたかった。
- ・歌 とても感動して泣いてしまった。 自閉症の大人になったら、どういう風に日常を送っているのか、もっと詳しく知りたいな～とも思いました。
- ・私は元々看護師をしていて、なんとなく浅く知識はあったのですが、自分の娘（2歳）が自閉症だなんて思ってもみなかったです。 夫が言語聴覚士をしていて気づいたのですが、自閉症とはどのような障害なのか 改めて良く分かり、体験もできて これから 娘の成長とともに自分も対応できるようになればいいなと思いました。
- ・親・支援者として、今日の体験・講演を心に入れ、頑張りたいと思います。 機会があれば、また聞きたいです。 ありがとうございます。
- ・（自閉症の方が）身近に居なかったので、孫の将来を とても心配しています。 こどもの好きな事を見つけるのが、周りの責任ですね。 いろいろな体験をさせなければね!! そして寛大なところでうけとめるよう努めなければ、親は、普通子育て以上に成長できます。 その子に有難うですね。
- ・講演時間が短いためだと思いますが、もう少しゆっくり説明等があると良いと思います。 もう少し疑似体験があると良いと思います。 質問等のじかんもあると良いと思いました。 機会があれば、また参加したいと思います。
- ・もっと多くの人に紹介すると、理解され、社会生活の対応できるのでは。
- ・自閉症を育てる親として、いろんな方が理解してもらえる様な、大変さを分かってもらいたい。 悩みは常にあり、支援をいろんな地域で助けて頂きたい。
- ・今後の生活や仕事に生かしていけたらと思います。 ありがとうございます。
- ・疑似体験に興味があり、田原市から参加させて頂きました。 私は支援員ですが、日々自閉症の方の対応にどうしたら良いか考えさせられる毎日です。 今日の体験をふまえて支援に役立てたいと思います。 そして共に生きている仲間として関わっていきたいと思います。 わたしたちのこどものお話、とても分かりやすかったです。 心が洗われました。 歌（君がいてよかった）良かったです。 心に響きました。 10人10色の支援が少しでも出来る様に 日々精進していきます。 支援のヒント 頂きました。 ありがとうございます。
- ・実際にお子さんが自閉症というお母様達からのお言葉なので、難しい本を読むよりリアルが分かりました。 ユーモアや体験を混ぜてだったので、聞いていてとても楽しく、分かりやすい公演だと思いました。

- ・お子様を育てられ、このような啓発活動をされていることは本当に素晴らしいことだと思いました。良い機会を頂けて良かったです。ありがとうございました。
- ・今日初めて参加しましたが、続けて参加していきたいと思います。とても為になり、とても感動しました。
- ・こちらからは良いと思って声かけをしているつもりでも、相手は違う風に感じることもあると知った。こういう風に思っていると考えることもあったが、実際に今日「こういう感じ」という体験ができてよかった。
- ・実際に 自閉症の子供さんを育てられた方のお話で、とても伝わりやすく受け入れやすい内容でした。対応の仕方や手立てを具体的に教えて頂けたら嬉しいです。
- ・また違うお話などがあれば聞いてみたいです。(家での過ごし方・注意の仕方など)
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自閉症が理解される社会になるよう、啓発活動をこれからも続けて頂けたら嬉しいです。ありがとうございました。
- ・知人が同じようなNPO法人に勤めております。いろいろなケースで似たような方にも接しているかもしれません。もっと知りたいとも思いました。彼らを通じて学びます。